

令和 5 年度 西区の地域課題・提案

1 高齢者、認知症高齢者の免許証返納について

(背景) 自立支援型地域ケア会議において、高齢者や認知症高齢者などの免許返納へのアプローチが難しいという意見があった。

高齢化や病気による心身機能低下等に伴う運転技術の低下や認知症の発症などで、車の運転が心配なケースが顕在化してきている。

家族や関係者としては、事故の危険性や安全面の配慮から免許証を返納し、車を運転しなくても良い環境と生活を確保したいところであるが、現時点では強制的に運転を止める権限は無い。また、本人の行動自体も制限することが困難である。

「車を運転したい」「車がないと生活に困る」などの本人の意思や人権への配慮も必要で対応が困難な状況である。

(提案) 高齢者の運転免許証返納に関する課題については住民への啓発や環境整備が必要である。これまでも行政や警察で様々な取り組みを実施してきたが、自動車学校や交通業界とさらに連携を強化し、運転免許証の返納をしやすい環境づくりが必要と考える。

2 民生委員をはじめとする地域活動を担っている方々への業務内容の見直しについて

(背景) 民生委員をはじめ地域活動を行っている方々の業務内容が多岐にわたり、業務量も増えている。また、個人情報取扱いや、地域での活動において苦情を言われることもあり精神的負担が大きく、活動を継続していくにあたって限界が来ているのではないかという意見がある。

そのため新たに活動を行おうという人や次の担い手も少なく、民生委員の欠員にもつながっている。

(提案) 民生委員をはじめ地域活動を担っている方々の業務について、業務内容の見直しや役割分担について検討し、負担軽減を図る必要があると考える。